



# こしんでん

令和6年10月24日発行

— 第 8 号 —

浅羽東小学校のHP <https://asabahigashi-e.fukuroi.ed.jp>

学校メールアドレス [asahigashi-s@orange.ocn.ne.jp](mailto:asahigashi-s@orange.ocn.ne.jp)



10月19日(土)、保護者の皆様、御家族の皆様、学校運営協議会委員の皆様をお迎えし、第34回浅羽東小運動会を盛大に開催することができました。

1年生の代表児童による開会の言葉、スポーツ委員会委員長の選手宣誓で運動会の幕が開けました。堂々とした選手宣誓を聞いているだけで、体が震えました。5、6年生の子供たちは、委員会ごとに自分の役割を果たしながら運動会の運営を支えました。



徒競走では、ゴールに向かって必死に走る子供たちの姿、ゴールした後の子供たちの様々な表情が印象に残りました。レースに敗れ、悔しがっている子供たちの姿も輝いて見えました。

僥倖種目の玉入れ、大玉運び、綱引きでは、仲間と協力する姿、励まし合う姿、互いを鼓舞する姿が素敵でした。高学年の綱引き

きでは、5年生も6年生も学年対決は1勝1敗という結果になり、5・6年生合同での勝負に決着はゆだねられました。見ている我々も力が入る大接戦となりました。

最終種目、学年団ごとの表現運動は、見応えがありました。

元気いっぱいの子供たちのやる気が踊りに表れていた中学年のソーラン節。法被を着て踊る子供たち自身が楽しんでいることが伝わってきました。子供たちの掛け声や表情にはたくましさを感じられ、成長した子供たちの力強さを感じました。

まだあどけなさや幼さが残る低学年の子供たちによるダンス。演目は、「新時代をつくるのは、ぼくたち、わたしたちだ!」です。かわいらしさが存分に表現された一方で、「新時代の主演はわたしたちだ!」と言わんばかりの決めポーズも見られました。凜とした子供たちの姿に、「この子たちもこれからの浅羽東小をつくっていつてくれるはずだ!」という期待が膨らみました。



運動会の最終演目となった高学年のフラッグ。機敏で統制の取れた動きに、集団としての一体感、集団の美を見ることができました。学級ごとにつくったオリジナルのパートには、学級の個性も表れていました。創造力を働かせてみんなで一つのものをつくり上げる楽しさと難しさ、協力することのすばらしさを子供たちは実感したことでしょう。



色鮮やかなフラッグを使ったパフォーマンスが、運動会の締めくくりに華やかな雰囲気をもたらしてくれました。

子供たちだけでなく、会場に集まった全ての人が笑顔になれる最高の運動会になりました。



大勢の保護者の皆様、御家族の皆様にご来校いただき、子供たちにとっては頑張る姿を直接見てもらえる最高の舞台となりました。開場時刻まで正門周辺で整然と待ってくださった保護者の皆様、定められた場所でお互いに気を遣いながら写真撮影をしたり、応援したりしてくださる保護者の皆様、閉会式の片付けに積極的に手を貸して下さった保護者の皆様など、本校の子供たちが目指している「自分も相手も大切にする」姿をたくさん見せていただきました。

子供たちの間であいさつの輪が広がってきた成果なのかもしれませんが、職員よりも先にあいさつをして下さる保護者の数が以前より増えたように感じました。閉会式では、子供たちだけでなく参観に来られている保護者の皆様も含めた学校全体の「聞く」という雰囲気がとてもよかったと感動している職員もいました。また、運動会終了後、「すばらしい運動会をありがとうございました。」と声を掛けてくださる保護者や御家族の方々がいらっしゃいました。子供たちの笑顔と同じくらい、職員にとっては労いになりました。皆様の温かい御支援と御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## あいさつの輪を広げよう！～浅羽中学の生徒さんとあいさつ運動～

22日（火）から25日（金）まで浅羽中学の生徒会役員や委員会の委員長が登校前に本校を訪れ、あいさつ運動を行っています。登校してきた青空委員会やボランティアの児童もだんだんと加わり、あいさつ運動の活動員はどんどん増えていきます。

「いつでも・どこでも・だれにでも・自分から」あいさつできる子を目標にしています。あいさつの声を届けるだけでも相手を笑顔にすることができます。顔を上げて、目を合わせるだけでも十分です。みんなで笑顔あふれる浅羽東小にしていきたいですね。

